

三洋エナジー南淡・三原工場が完成



▲企業団地に完成した三洋エナジー南淡(株)三原工場

企業誘致

南あわじ市では企業誘致を重点施策として取り組んでいます。このたび、榎列上幡多の企業団地に市が誘致した三洋エナジー南淡(株)三原工場が完成しました。

昨年7月から建設が進められていた新工場で、2月17日、関係者約80人が出席して竣工式が行われました。新工場は、鉄骨3階建てで、携帯電話やノートパソコンなどに使われるリチウムイオン電池の生産を行います。竣工式で中田市長は「新工

場の完成で新たな雇用が生まれ、若者の定住化や人口増加にもつながり市にとっても喜ばしい。電池はこれからの生活にはなくてはならない物であり、景気回復にも期待したい」と話しました。

工場は順次、操業開始予定で、新規雇用がなされ、南あわじ市内の方々も大勢働くこととなります。今後も雇用創出による市の活性化を図るため、企業誘致を推進します。

竹本駒之助さん、CD集を寄贈



▲人間国宝・竹本駒之助さん

日本伝統文化振興財団制作の「淡路人形浄瑠璃資料館」へ寄贈されました。

駒之助さんは、昭和10年生まれ。天才少女と騒がれ、14歳で大阪に出て女流義太夫の竹本春駒に入門。以来、数々の名人に師事し、伝統技法を身に付けた芸は高い評価を得て、平成11年、国の重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定されました。また義太夫協会副会長や後継者養成事業の講師を務めるなど、後進の指導にも励んでいます。

全国へ魅力をPR

市ホームページに「動画チャンネル」

兵庫県「大型観光交流キャンペーン(DC)」や「ふるさと納税制度」などが始まり、益々、南あわじ市の魅力を全国に発信していくことの必要性が求められています。そこで南あわじ市では、3月20日から、さんさんネットが自主放送番組などで作成した過去の番組や観光情報、市長メッセージなどをホームページで公開する「動画チャ

ンネル」を開設しました。これにより島外に住む出身者や観光客、定住をお考えの方々へ、市の魅力や出来事などの情報をわかりやすく伝えることができるようになります。閲覧方法は、市ホームページトップページから「南あわじ市動画チャンネル」の画像をクリックしてください。



▲開設した「動画チャンネル」

南あわじ市障害者福祉施設「きらら」(神代浦壁)のお菓子工房と精神障害者小規模作業所「いちばん星」(市福永)の喫茶コーナーがリニューアルされました。この工事で、「きらら」はお菓子の生産活動を充実させ、「いちばん星」では、障害者の相談スペースを設けたり、バリアフリーの充実などを図りました。



▲リニューアルされた「いちばん星」。お昼には日替りランチも行っています。(月~土) 9:30~16:30

「続三原郡史」が完成



▲編集委員の皆さん(前列左から、飯田寛治委員、菊川兼男委員長、増田博茂副委員長。後列左から正井良徳委員、川道享史委員、西東祥征委員)

「続三原郡史」は、昭和51年から南あわじ市誕生に至るまでの約30年間の三原郡四町の歴史と、遺跡の調査記録、地名の改変の解説や由来など、古い時代への考察も盛り込まれた現代史として完成しました。3月11日、約5か年の歳月にわたって編集に携わっていただいた6人の委員に中田市長から感謝状が手渡されました。市長は「子や孫に歴

編集委員に感謝状

史をつなぐ家宝として後世に残せる立派なものができました」とお礼の言葉を述べました。菊川兼男編集委員長からは、「前編の三原郡史と共に、両方を読んでいただき、ふるさとを愛する思いを養っていただきたい」と完成の喜びが語られました。

書籍は一冊5000円(税込)、市内取扱店(3月広報掲載)の7書店で、8月31日まで販売しています。 市長公室 ☎43・5002

子育てハッピーアドバイス

子育ての不安を解消してもらおうと「子育てゆめるんセミナー」を3月7日、緑市民センターで開催しました。育児相談や離乳食教室、市の子育て支援の取り組みなどが紹介されたほか、特別講演として、ベストセラ―本「子育てハッピーアドバイス」の著者で医師の明橋大二さんのお話がありました。明橋さんは、今の子どもをめぐる問題の根っこは、「自

明橋大二先生が講演



▲講師の話に真剣に耳を傾ける参加者

己評価の極端な低さ」が原因であると指摘。「0〜3歳の間は自尊心が身につく時期なので、愛情をたっぷり与えてあげてください。この感情が身につけば、生活習慣や学力の向上につながります」と話されました。

当日、200人が来場。父親も多数訪れ、大橋先生の話に真剣に耳を傾けていました。

円実自治会、公会堂を整備



▲整備された円実公会堂

宝くじの収益を財源とした(財)自治総合センターの20年度コミュニティセンター助成事業を活用し、灘円実自治会は、

円実公会堂を整備しました。中川健次自治会長は「住民の交流、伝統文化の継承の場として、また非常時の避難場所として有効に活用させていただきます」と話していました。

ふるさと納税

寄附金は淡路人形会館建設などに活用させていただきます。ありがとうございます。

消費者協会が 金融学習会

市消費者協会は2月13日、南淡公民館で「金融学習講座」を開催。会員約50人が参加しました。

講座では、財務省近畿財務局神戸財務事務所の前曾秀昭所長を招き「我が国の財政の現状と課題等」と題して講演し、国の予算や兵庫県の経済情勢、金融詐欺等について話され、参加者は真剣に聞き入っていました。

ふるさと南あわじ応援寄附金 (3月16日現在)

区分	件数	金額
南あわじ市内	159件	25,884,219円
市外(島内)	28件	1,716,000円
市外(島外)	107件	8,639,940円
合計	294件	36,240,159円

詳細は市のホームページに掲載しています

福良不動産から寄附

2月24日、福良不動産代表の内海信太郎さんが緑庁舎を訪れ、1月に行った寒行の浄財11万円を「福祉に役立ててください」と寄附されました。